

## 胃癌脳転移に関する後方視的検討

### 1. 研究の対象

2011 年 1 月から 2021 年 4 月の間に当院で胃または食道胃接合部癌に対して化学療法を受けた脳転移を有する方

### 2. 研究目的・方法

胃癌の脳転移は 0.5-0.7%程度と報告されており稀な転移臓器です。しかし、胃癌の治療開発が進み新規薬剤の出現により全生存期間は延長してきており脳転移の発生割合は上昇傾向にあると予測されます。また、胃癌の脳転移症例は有症状で発見されることが多く、一般的に予後不良と報告されています。全生存期間が延びてきた現在における脳転移の発生頻度およびその発生時期を調べることで、現代における胃癌脳転移の特徴ならびに日常臨床で全身化学療法をなるべく長く継続していく上での留意点について検討します。カルテ上の情報を収集して解析を行います。研究期間は 2022 年 12 月までとします。

### 3. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、病理組織、カルテ番号 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：

大阪国際がんセンター 腫瘍内科 工藤敏啓

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181